

☆さいたまに子誕生秘話

さいたまに子が生まれたのは、2012年8月27日。
埼玉新聞に掲載された、県の観光事業の担当を募集する
「オタ就活」の広告だった。

オタ就活



埼玉新聞 急募用 県観光事業

問 この絵を見てどう思いましたか。

答 ①フツーにかわいい
②どこかで見たことがある
③何だかイラッときた

③と答えた方、あなたは萌えを知っているはず…。

臨時スタッフ急募 詳しくはWebで。

※県庁内各支庁に設置した観光センターに広告掲載をお願いします。

埼玉県久喜市。

よく晴れた（雨でも曇り等にも変換可能。当日天気どんなだった？）日の午後。

久喜市商工会（旧鷺宮商工会）に、男達が集まっていた。
商工会職員。埼玉新聞社員。鷺宮に拠を構える、

株式会社カシタルの社員。

埼玉新聞に掲載する、広告の案を練っていた。

何か、斬新なネタはないか：

そんな時、商工会職員の坂田氏が言った。

サイタマニアなら、さいたまに子って作っちゃえばいいじゃん。

最初、他の人は「それは無いだろ」と否定していたが、会議の間中、ずっと「さいたまに子」が離れない。

「意外といいんじゃない？」

埼玉新聞社の吉田編集局次長は、決断した。

更に、商工会の松本氏が、続いた。

「鷺宮はオタ婚活をやってるから、埼玉新聞はオタ就活やっちゃえば？」

そこから話が盛り上がり、株式会社カシタルに、そのデザインが依頼された。

募集内容

埼玉新聞サイタマニアのキャラクター「さいたまに子」のプロフィールを考えて下さい